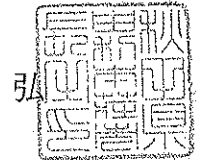




本由企調 第27号
平成19年5月1日

国土交通省道路局長 様

秋田県由利本荘市長
柳 田



中期的な計画の作成に当たっての意見の提出について
(回答)

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のあった標記意見について、下記の通り回答いたしますので、ご査収下さいますようお願いいたします。

記

1. 道路財源の堅持と地方の道路整備予算の確保について

道路は国民生活や経済社会活動を支える最も基礎的なインフラであり、特に、本市をはじめとする地方都市においては、未だ経済状況の厳しい中、地域の産業・経済発展、救急医療や災害時における緊急輸送など、安全・安心な都市づくりの推進を図るために、その整備は重要な課題となっております。

沿線地域の開発を促進し、産業、経済、文化等の幅広い分野での均衡ある発展と魅力ある定住社会の創造、更には一体感のある多軸型国土の形成を図るため、沿線住民が熱望し、地域づくりの根幹をなす道路整備が推進され、地域住民の豊かな生活が実現されますよう、次の事項についてご理解をお願いいたします。

(1) 平成15年度を初年度とする「社会資本整備重点計画」を計画的か

つ着実に推進するために、一般財源の大幅投入を図るとともに、受益者負担の原則に基づく自動車重量税等の道路特定財源は、全額道路関係整備に充当し、特に地方の遅れた高速道路等幹線道路整備を重点的に進めることについて

- (2) 高速自動車国道は国の最も基幹的な公共施設であり、今後とも国及び地域の産業・経済・文化活動の発展を支えるため、国の責任において着実に高速道路ネットワークの整備を推進することについて
- (3) 高速自動車国道をはじめとする高規格幹線道路網、並びに活力ある地域づくりに資する地方道路の整備を推進するため、所要の建設事業費を確保することについて
- (4) 整備計画9, 342キロメートルのうち残事業区間約2, 000キロメートルについては、新会社による有料道路方式と新直轄方式を有効に活用し、従来のスピードを超える一体的整備推進を図ることについて

2. 高速交通体系の整備について

日本海沿岸東北自動車道は、日本海国土軸の根幹に位置付けられているほか、秋田自動車道とともに県経済の大動脈ともなっていることから、地域成熟型社会に向けて当地域が飛躍的に発展し、豊かで活力のある地域づくり・都市づくりを進めるためには、「人とモノ」の広域交流・連携を加速する高速交通体系の整備が最大の課題になっております。

特に、日沿道はそれぞれの地域の観光資源のネットワーク化、また、TDK株式会社が本市へ新工場の進出を予定しておりますが地域産業の活性化を図るためのツールとして、さらに、交通事故及び災害時のリダンダンシー（代替）や救急患者搬送の安定した時間短縮ルートの確保など地域にとって必要不可欠なものであります。

「日本海沿岸東北自動車道整備」については、優先度の高い政策との思いを強くしておりますが、利用者の利便性に配慮しながら次の区間についての整備を進め、さらに、全線開通を実現されるようお願いいたします。

- (1) 高速自動車国道と並行する一般国道自動車専用道路「仁賀保本荘道路」仁賀保インターチェンジ早期完成、及び「象潟仁賀保道路」

の早期着工を図ることについて

(2) 「酒田市～象潟町間」の調査を促進し、早期に整備着手することについて

(3) 利用者の利便性確保と効率化のため、追い越し車線の増設および同車線区間の2キロメートル以上の確保に配慮することについて

3. 循環型交通ネットワークについて

道路は、地域づくりの根幹をなす社会資本であり、個性あるまちづくり、地方中核都市の飛躍的発展、魅力ある定住社会の創造、さらには、一体感のある多軸型国土の形成を促進するためには、計画的かつ広域的に整備を推進することが重要な課題であります。

こうした認識のもと、地域高規格道路『本荘大曲道路』は日本海側と内陸部を連結し、日本海沿岸東北自動車道をはじめ秋田新幹線及び秋田自動車道と一体となった「循環型交通ネットワーク」を形成するための必要不可欠な路線であり、新生「由利本荘市」の発展にとりましても、重要な路線であります。

とりもなおさず、日本海沿岸東北自動車道「岩城仁賀保間」の開通延伸と併せ、「本荘大曲道路」約25キロメートルの整備により、秋田県南部日本海側から内陸各都市及び東北自動車道等全国高速道ネットワークとの連携が高まることは、国土の効果的利用をはじめ道路行政上効率的な路線と考えております。

秋田県南部日本海側から秋田自動車道、東北自動車道へ接続する「本荘大曲道路」の一日も早い全線開通へのご配慮をお願いいたします。

4. 安全・安心の確保について（国道7号関連）

本地域においては、国道7号を基軸として国道105号、107号、108号が市街地で結節し、放射状に内陸部の各都市と結ばれていることから、交通の要衝となっておりますが、国道7号は、日本海沿岸地域を縦

貫し、日本海国土軸の形成と国土の均衡ある発展に欠くことの出来ない極めて重要な路線であります。

県都秋田市をはじめ日本海沿岸の都市間を結ぶ交流や物流の大動脈となっており、いわば市民にとりましては生命線とも言える路線であります。

一方では、昼夜を問わず、長距離輸送車をはじめ通過交通量が多く、沿線においては車両事故はもとより、人身事故も多く発生している状況であります。

市民の安全で安心かつ、やすらぎのある暮らしのために、一般国道7号における次の区間の整備をお願いいたします。

- (1) 勝手橋の早期完成について
- (2) 親川地内の交差点改良の早期整備について
- (3) 岩城自歩道整備事業の早期完成について
- (4) 本荘・石脇地域公共空間の有効活用と景観向上の取り組みの促進について

5. 交通渋滞の解消について

本市においては、国道7号を基軸として国道105号、107号、108号が市街地で結節し、放射状に内陸部そして太平洋側の主要都市と結ばれており、近年、通過交通量が増加の一途にあり、特に市街地においては慢性的な交通渋滞が発生しております。

特に、国道7号に連結する国道107号『本荘道路』は、これら交通渋滞の解消を図るとともに、県内一の広大な面積を有する本市の地域間連帯強化及び市街地の活性化、そして北東北における地域間連携のための最重要路線であり、現在第2工区の2キロメートル区間において事業が進められており、一部用地買収と物件移転補償が実施されているところであります。

さらには、日本海沿岸東北自動車道本荘インターチェンジ（仮称）と国道7号を結ぶアクセス道路としてその重要性が一層増しております一般国道107号『本荘道路』の早期全線整備についてお願いいたします。

6. 安全・安心の確保について（県管理国道関係）

由利本荘市を通過しております国道105号、107号、108号、341号及び398号につきましては、これまでも順次整備が進み、着実に交通利便性と安全性が向上しております。

しかしながら、平成16年3月11日、矢島町川辺字前杉地内の国道108号沿線で発生した土砂の崩落により、同国道を通過中の軽乗用車が約30m下の子吉川へ押し流され、同乗していた女性1名が死亡するという事故が発生しております。

こうした事故の発生を未然に防止し、沿線住民の安全を確保するため、また、新生「由利本荘市」の均衡ある発展に寄与するため、県管理国道5路線の下記部分の整備、改良につきまして、今後ともご理解をお願いいたします。

（1）国道108号線関係

1. 前杉バイパスの早期完成について
2. 道仏坂地内の整備について
3. 立井地地内のバイパス整備について
4. 矢ノ本地内及び瀬中石地内の整備について
5. 黒沢踏切の渋滞緩和対策について

（2）国道107号線関係

1. 「久保～板戸間」の改良整備促進について

（3）国道105号線関係

1. 横岩地内の歩道等安全施設の整備について

（4）国道398号線関係

1. 「松沢～唐松間」の未改良区間の整備について

（5）国道341号線関係

1. 「富田～滝俣間」の拡張整備について

7. 地域内の道路ネットワークの整備・安全の確保について

新生「由利本荘市」は、秀麗鳥海山の裾野、秋田県南西部に位置し、市の中央を一級河川子吉川が貫流して日本海にそそぎ、面積は、1,209.

0.4平方キロメートルと県内一を誇ります。

東西わずか32キロメートルですが、沿岸と内陸では、特に、冬期間の気候に差異が見られ、新市を構成する八つの地域が一体性を持ちながら、均衡ある発展を推進するためには幹線から生活路線まで道路網の整備と交通の安全確保が重要となって参ります。

合併市への支援という面からも、圏域12万都市のまちづくりのため、下記路線における未整備区間の整備についてお願いいたします。

- (1) 県道「羽後本荘停車場線」の整備着手について
- (2) 県道「冬師西目線」の歩道改良について
- (3) 県道「院内孫七山線」の道路改良について
- (4) 県道「象潟矢島線」の整備について
- (5) 主要地方道「仁賀保矢島館合線」未改良区間の整備について
- (6) 主要地方道「羽後向田館合線」の整備について
- (7) 主要地方道「本荘西目線」と国道7号との交差点付近の歩道の改良について
- (8) 主要地方道「鳥海矢島線」の整備について
- (9) 主要地方道「十文字羽後鳥海線」立石峠工区整備について

8. 生活に直結した道路網の整備について

新生由利本荘市は広大な面積を有し、生活に直結した道路網の整備が重要課題となっております。

また、本荘中央地区土地区画整理事業の進捗に併せ、街並み整備と市街地のにぎわい創出には、老朽化が進む由利橋の架け替えが課題となっております。

9万都市のまちづくりのため、下記についてご配慮をお願いいたします。

- (1) 市道松ヶ崎亀田線の国道7号接続部分改良について
- (2) 市町村が管理する道路橋の長寿命化修繕計画の促進と財政支援について
- (3) 市道の改良に係る支援について